

② かかりつけ医とは

かかりつけ医とは、風邪などの病気や体の不調を感じた際に受診したり、自分の健康について相談したりする決まった医療機関(医師)のことです。

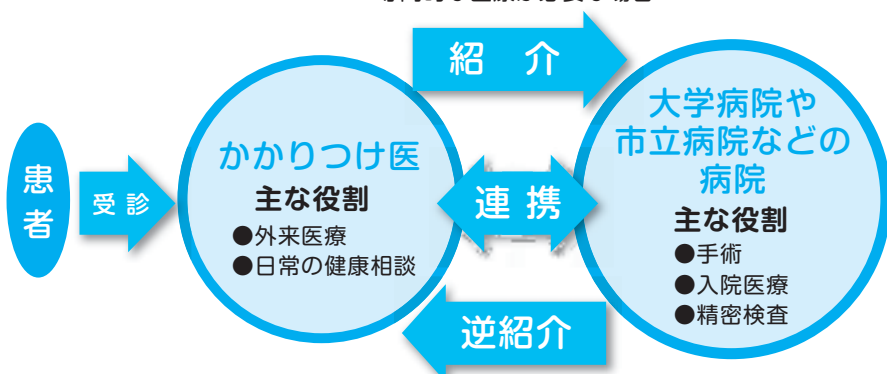
また、皆様の中には、かかりつけ医が対応できない治療や検査があるのでは？と疑問に思うかもしれませんが、その場合、かかりつけ医が病状に応じて適切な病院を紹介してくれます。



■ 医療機関同士の役割分担

患者が、必要な医療を受けられるようにするためには、医療機関同士の役割分担と連携が重要になります。

専門的な医療が必要な場合



軽症の場合や症状が安定した場合

紹介状とは？

正式には「診療情報提供書」といいます。患者の症状や病名、どんな検査・治療をしたか、病状の経過に加え、参考となる意見など、紹介先の医療機関での治療に必要な情報が書かれています。

患者にとっては、

- 紹介した医師と紹介先の医師の間で情報がきちんと共有される
 - 重複した検査をしなくて済む など
- のメリットがあります。

一方、救急患者などを除いて、**紹介状なく**大学病院や市立病院などを受診した場合、診察料とは別に料金を請求されることがあります。

病院と診療所の違いとは？

普段何気なく「病院に行く」と言っていますが、「病院」と「診療所」は医療法に基づき区別されています。

病 院・・・入院するための病床が20床以上の施設

診療所・・・病床が全くないか、19床以下の施設

③ かかりつけ医に関するQ & A

Q1 かかりつけ医はどうやって決めたらいいの？

以下のポイントを参考にいただき、患者自身でかかりつけ医を決めましょう。

ポイント

- 自宅や職場から近く通院しやすい。
- 質問に丁寧に回答してくれる。
- 治療や検査をする理由を分かりやすく説明してくれる。
- 病状に応じて適切な病院を紹介してくれる。
- 外来受診が困難な場合、往診・訪問診療に対応してくれる。



Q2 かかりつけ医を決めるといいことがあるの？

かかりつけ医は、患者の体質、病歴や日頃の健康状態を把握していることなどから、患者にとって以下のメリットがあります。

メ リ ッ ト

- 患者の病歴や体質、生活習慣等を把握してもらうことで病気の早期発見につながります。
- 食事や運動など日常の健康管理のアドバイスもしてくれます。
- 病状に応じて適切な病院を受診するための紹介状を書いてもらえます。
- 診察までの待ち時間が規模の大きな病院より短い場合があります。

Q3 かかりつけ医を変更してもいいの？

かかりつけ医を変更することもできます。その際は、紹介状や診療録(カルテ)の写しを入手したほうがこれまでの経過などが分かり、スムーズに次の医療機関へ移行できます。

Q4 診療科ごとにかかりつけ医を決めていいの？

それぞれ必要な診療科のかかりつけ医を決めることもできます。例えば、内科のかかりつけ医と眼科のかかりつけ医の2人のかかりつけ医としてもよいでしょう。

豆知識

3

治療方針に悩んだときは？

病気やけがの治療にはいくつかの方法があることが多く、主治医以外の医師の意見を参考にしたい場合、「セカンドオピニオン」を実施している医療機関に治療方針を相談することができます。

セカンドオピニオンとは、患者自身がより良い選択をするために、**主治医以外の意見を聞く**という方法であり、主治医を変更したり、治療を受けたりすることではありません。また、セカンドオピニオンを依頼する際には、事前に主治医に相談し、診療情報提供書や検査結果など(必要な物は、相談先の医療機関に要確認)を提供してもらいましょう。セカンドオピニオンを受けるための費用は保険適用外のため自己負担となり、医療機関によって異なります。概ね30～60分で1～3万円程度です。

場合によっては、治療や今後の方針などの選択肢が増えることがあります。最終的には患者(と家族)が治療方針を決定する必要があります。

■セカンドオピニオンの費用の例

A 病院	21,600円(60分)
B 病院	32,400円(60分)
C 病院	10,800円(30分※延長30分毎、5,400円加算)